

当初予定していたプログラム
2020年2月14日時点

第41回農業農村情報研究部会勉強会

ローカル5Gで農村はどう変わるのか-その可能性を考える-

日時： 2020年3月4日(水) 11:00-16:30

場所： 東京大学フードサイエンス棟中島ホール(農学部内)

参加費： なし

主催：農業農村工学会・農業農村情報研究部会

共催：東京大学アグリコクーン・農学における情報利用研究フォーラムグループ

趣旨：今年度、総務省は従来の人口カバー率に代えて面積カバー率を指標にして、2023年までに5Gの通信インフラ整備を全国展開する計画を打ち出しました。この計画では全国を10kmグリッドで5Gの基地局が整備されることとなります。これにより、これまで携帯電話の電波すら入らなかった農村地域でも5Gのサービスを楽しむようになる可能性があります。こうした中、農水省が総務省と連携し基地局からの面的な高度通信インフラの整備について現在検討を進めています。農業用排水網や農道網の整備に併せて光ケーブルを敷設するのが良いのか、5G基地局から無線で展開するのが良いのかは地域特性によって変わることが予想されます。この勉強会ではそうした可能性を踏まえて、未来の農村について議論したいと思います。



プログラム

- 11:00-11:10 開会あいさつ 溝口勝(部会長・東京大学農学生命科学研究科/教授)
- 11:10-12:00 ローカル5Gとは何か? 中尾 彰宏(東京大学大学院情報学環/教授)
- 12:00-12:30 総務省における5Gの取組
豊重 巨之(総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室/課長補佐)
- 12:30-13:00 農村の情報ネットワーク環境整備の課題
松岡 宗太郎(農林水産省 農村振興局 整備部地域整備課/課長補佐)
- 13:00-14:00 昼休み
- 14:00-14:15 ローカル5Gの基地局設置の方法と課題
池田博樹(株式会社M2B コミュニケーションズ/取締役)
- 14:15-14:30 農業農村地域の情報基盤整備と未来の農村
安瀬地 一作(農研機構農村工学研究部門水利工学研究領域/主任研究員)
- 14:30-14:50 農村ネットワーク環境下で想定されるデモアプリ
槻瀬誠(農林水産省近畿農政局農村振興部事業計画課/事業計画管理官)
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-16:25 アイディアソン:5Gで農村はどう変わるのか?
杉野弘明(東京大学農学生命科学研究科農学国際専攻/助教)
- 16:25-16:30 閉会あいさつ 溝口勝(部会長・東京大学農学生命科学研究科/教授)